

八幡史年表

1979 年に広島県立東城高等学校生徒会で石器時代から昭和 54 年までの「東城史年表」が編集され、その中で八幡地域に関係する事項を下記抜粋いたしました。

西 暦	日本年号	事 項
3 世紀後半～ 7 世紀 古墳時代		古墳時代の遺跡 (森) 殿迫谷古墳 (2 基) 槇ヶ峠古墳 (3 基) 市場古墳 長畝古墳 坊主古墳 次石古墳 迫ヶ谷古墳 大足山古墳 市場遺跡 (川鳥) 大足山古墳 上五十石古墳 朴ノ木古墳 池の奥尻古墳 (保田) 保田古墳 荒神谷古墳 垣内古墳 (田黒) 是安山古墳 (菅) 上菅古墳 篠古墳 下菅古墳 (受原) 受原古墳
1324 年	正中 1	菅の国司神社が創建されたという。
1332 年頃	元弘年間	森の白鬚神社が創建されたという。
1352 年	天平 7 文和 1	川鳥の八幡神社が創建されたという。
1376 年	天授 2 永和 2	保田の八幡神社が創建されたという。
1396 年	応永 3	森の菅原神社が創建されたという。
1457 年	長祿 1	宮下野守正盛が父教元の菩提のため菅の徳雲寺を建立、僧覚隠を開山とし、寺領 350 石を寄進したという。
1470 年	文明 2	受原の八幡神社が創建されたという。
1473 年	文明 5	田黒の国司神社が創建されたという。
1559 年	永祿 2	受原八幡神社炎上
1592 年	天正 20 文祿 1	徳雲寺 9 世僧拍翁が森の雲龍寺をひらいたという。
1594 年	文祿 3	徳雲寺大伽藍消失 (4 月 10 日)
1613 年	慶長 18	徳雲寺火災で焼失 (12 月 27 日)
1733 年	享保 18	この年「寅年がしん」。大飢饉、百姓一揆が各地でおこる。 森村の野尻の小左衛門、川除の藤武の両名、強訴の発頭人として捕えられる (のち藤武は赦免されたが、翔左衛門は死罪となる)。
1738 年	元文 3	徳雲寺諸堂全焼する。(3 月 20 日)
1753 年	宝暦 3	川鳥の八幡神社に森村の藤武が石鳥居を寄進する。(4 月)

		菅の国司神社に石鳥居が寄進される。(9月)
1767年	明和4	森中島家文書の中に、この年に書かれた神楽の「能番附」(能本)がある
1776年	安永5	森中島家文書の中に、この年に書かれた神楽の「鳶屋名峠名荒神神楽神数受引控覚帳」がある
1780年	安永9	森中島家に、この年に書かれた神楽の神殿の立札が現存している。
1817年	文化14	森中島家文書の中に、この年に書かれた神楽の「兼清名荒神神楽入用物帳」がある
1818年	文政1	森中島家文書の中に、この年に書かれた神楽の「茶屋名荒神神楽覚帳」がある
1847年	弘化4	森中島家文書の中に、この年に書かれた神楽の「湯谷名荒神神楽役割覚帳」がある
1859年	安政6	森中島家文書の中に、この年に書かれた神楽の「五行神配頭之事」(農本)がある
1869年	明治2	「巳の敏がしん」 凶年半作、年貢を納めれば皆無の状態となる。森村の庄屋友永里右衛門、麦植付のため稲を無断で刈り取らせたため、郡吏の怒りをかい、貢祖の徴収過酷をきわめる。一丁田力右衛門は窮状を藩に直訴、庄屋里右衛門、長百姓武八郎連座して捕えられる。
1871年	明治4	膳広島藩主浅野長訓負債の東京移住に際し、これの阻止を陳情して武一騒動が起こる(8月4日) 全県下の農民一揆に発展し、各地で公的機関・村役人宅・豪農・豪商宅など打ち壊される。ついに軍隊が出動して鎮圧する。森脇武一ら9名死刑となる(11月4日)(奴可郡へは三上郡から県民が押し寄せ、まず西城を破壊、川鳥に入り三草の細川健三郎宅で暴力をふるい、続いて竹森の名越弥三郎宅で乱暴、東城に入って暴れた。
1872年	明治5年	行政区画改定 第14区(奴可郡) 第2小区 大佐村、平子村、始終村、未渡村、宇山村 第4小区 高尾村、小奴可村、森村、加谷村、田黒村 第5小区 田殿村、保田村、山中村、川鳥村、菅村 第6小区 受原村、塩原村、栗田村、森脇村、竹森村 第7小区 上千鳥村、下千鳥村、内堀村、所尾村、小串村 第8小区 東城町、川西村、戸宇村、久代村、川東村、福代森
1874年	明治7	三草に川鳥干取扱諸が開設される。(8月1日) 受原学校として進徳舎が開設される(9月)
1875年	明治8	菅学校として徳雲寺に養源舎が開設される(2月) 川鳥・保田学校として川鳥に有隣舎が開設される(7月)
1876年	明治9	森小学校が開設される(1月1日)
1881年	明治14	受原小学校と竹森小学校を合併し、竹森小学森受原分校と改称(1月) 川鳥小学校新校舎落成(8月)

		田殿村を廃止し、森村に合併（12月1日）
1882年	明治15	竹森小学校受原分校を廃し、竹森小学校に合併する（1月）
1887年	明治20	森尋常小学校が改称発足し、校舎3棟落成 川鳥小学校教場を川鳥簡易小学校と改称する・
1889年	明治22	市町村制施行 八幡村発足 八幡村（川鳥三草に村役場をおく） 川鳥村、保田村、森村、田黒村、菅村、受原村が合併
1891年	明治24	川鳥簡易小学校菅文教場を菅尋常小学校と改称する（4月）
1892年	明治25	森尋常小学校を森尋常高等小学校に改称する（7月1日）
1895年	明治28	菅尋常小学校の校舎が新築落成
1896年	明治29	森尋常高等小学校に八幡農業補修学校併設する。
1898年	明治31	郡政施行により、三上、奴可、恵蘇の3郡合併し、比婆郡と称する。
1912年	明治45 大正1	川鳥尋常小学校の校舎改築落成
1923年	大正12	菅尋常小学校に菅農業補修学校を付設
1925年	大正14	川鳥小学校の創立50年記念碑建立 川鳥郵便局の局舎を新築移転（11月20日）
1926年	大正15 昭和1	八幡村内の3公民学校に青年訓練所を併設（7月1日）
1928年	昭和3	森小学校の校地を小字市場に移転し、校舎改築（10月）
1933年	昭和8	八幡村内3公民学校の研究科（青年訓練所）および女子部を森公民学校に統一して教育することと 八幡村役場を森の槇力峠に移す（12月）
1935年	昭和10	八幡村公民学校及び八幡青年訓練所を廃止、八幡青年学校開設
1939年	昭和14	森小学校の2階建校舎1棟増築落成。青年学校が使用
1942年	昭和17	広島県八幡村自治50年志
1945年	昭和20	八幡青年学校廃止（9月）
1947年	昭和22	覚国民学校は小学校と改称（4月1日） 八幡村立八幡中学校を森小学校校舎を使用して創立（4月15日）
1950年	昭和25	八幡中学校 八幡村130-2に新校舎落成（12月8日）
1952年	昭和27	八幡中学校運動場完成
1955年	昭和30	東城町・奴可村・八幡村・田森村・帝釈村・久代村および新坂村の一部が合併して新東城町発足
1956年	昭和31	八幡中学校行動落成 川鳥小学校校舎改築落成
1958年	昭和33	東城、翔奴可、八幡、田森、帝釈、久代、新坂に公民館設置
1959年	昭和34	菅・竹森覚小学校が統合して菅竹小学校設立（4月）

		菅竹小学校新校舎落成（12月25日）
1960年	昭和35	八幡中学校給食調理室落成
1962年	昭和37	川鳥小学校屋体落成 徳雲寺に郷土館開設（7月）
1963年	昭和38	菅竹小学校屋体兼行動落成 八幡中学校、戸宇小学校特別教室完成
1964年	昭和39	森・川鳥・菅竹幼稚園が八幡幼稚園として財団法人八幡会経営で発足 川鳥局舎大字森新築移転
1966年	昭和41	菅竹小学校校歌制定
1968年	昭和43	菅竹小学校10周年記念
1969年	昭和44	八幡地区水泳プール完成 国道314号線が指定される（東城～木次間）
1970年	昭和45	森、川鳥両幼稚園合併 東城町北部（塩原、井河内、田黒、森、内名など）に集中豪雨 死者7名、家屋など被害額14億円 白滝山にNHKと民放の小奴可テレビ中継局開設
1971年	昭和46	小奴可・川鳥・帝釈地域集団電話開通 八幡保育所を僻地保育所として開設 定員30名 ヒバ荒神神楽が国の選択民族芸能に指定
1972年	昭和47	東城町・東城町東・八幡の3農協が合併し、東城町農業協同組合発足 国民保険八幡診療所廃止
1973年	昭和48	菅竹小学校、米飯給食開始
1974年	昭和49	各小学校に養護教諭配置 川鳥郵便局100年記念行事挙行 東城町農協ライスセンター（八幡）竣工式
1975年	昭和50	川鳥小学校100周年記念祭、記念碑建立
1976年	昭和51	川鳥電話交換局開局
1977年	昭和52	森小学校創立100周年記念 八幡中学校校庭に夜間照明施設設置 東城町農協貯金オンライン開設（本所、小奴可、八幡、田森）
1978年	昭和53	八幡小学校校舎落成 森、川鳥小学校統合され八幡小学校発足 徳雲寺に240年目にして鐘楼堂を建立。 川鳥4区集会所、コミュニティーホーム整備事業で改修
1979年	昭和54	比婆荒神神楽が国の重要無形文化財の指定を受ける 八幡保育所が調律八幡保育所として定員60名で開設 八幡小学校屋体新築